

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年9月14日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	33週	34週	35週	36週	警報レベル	注意報レベル	基準値
	8月14日～8月20日	8月21日～8月27日	8月28日～9月3日	9月4日～9月10日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ [#]	0	0	1	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症 [#]	135	99	105	71	-	-	-
RSウイルス感染症	0	0	5	1	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	1	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0	0	1	8	4	-
感染性胃腸炎	3	4	11	6	20	12	-
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	2	1	4	3	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	1	1	1	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	-	○
備考	ヒトメタニューモウイルス感染症		新型コロナウイルス感染症

*「1.発生動向」の解釈について

・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
 ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原管内新型コロナウイルス確保病床使用状況 (9/12時点)

前週報告分	→ 最新状況
70.6%	35.3%

◆算出方法
 (確保病床-受入可能病床)÷確保病床
 ※栗原圏域独自の方法で計算しています。

・栗原管内医療機関の新型コロナウイルス入院病床がどの程度埋まっているか(最大値:100%)を示しています。
 ・この数値が高い状況が続くと、一般の診療体制にも影響が出る可能性があります。
 ・入院の可否は、病床の空き状況以外に、重症度や基礎疾患の有無等により決定されることにご留意ください。

4. 栗原支所から

【 定点把握対象疾患 】

- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より減少しています。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より減少しています。
- ・ 手足口病は前週より減少しています。

【 集団発生情報 】

保育所においてヒトメタニューモウイルス感染症の集団発生がありました。手洗い、換気、環境消毒、PPE着用、必要物品の補充等により、感染予防、拡大防止に努めましょう。

【 感染症コラム ～梅毒～ 】

- ・ 梅毒トレポネーマという細菌による性感染症です。
- ・ 粘膜や皮膚が梅毒の病変部位と接触することで感染します。
- ・ 近年、男女共に異性間性交渉による感染が拡大しています。
- ・ 感染後3週間位から、性器など菌が侵入した部分に硬いしこりや皮膚が硬くなり、リンパ節の腫れ、顔面や手足などの発赤、皮疹が出現します。一時的に症状が消えても、数年で神経梅毒や心血管梅毒(心臓、血管の異常)、脊髄ろう(歩行障害)となります。
- ・ 一般的には血液検査で診断しますが、感染後4週間程度は陽性となりません。
- ・ 早期の梅毒であれば抗菌薬の使用で治療が可能です。
- ・ 陽性になった場合、パートナーも同時に検査および治療を受けることが重要です。
- ・ 予防は病変部位と直接接触しないようにすることであり、性交渉においてはコンドームを適切に使用しましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
 ☎0228-22-2117 ☎0228-22-7595
 HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>